

# 茅ヶ崎市立病院通信

特集

## ACP（アドバンス・ケア・プランニング）

### 04 話し合った内容を伝えてみましょう

家族や身近な人に、自分の考えや望んでいることを言葉にして伝えてみましょう。どのように生きていきたいのかを共有することで、あなた自身だけでなく、周囲の人にとっても、これからの人生にどう向き合うかを考えるきっかけになります。



### 01 あなたが大切にしていることは何ですか？

自分の人生の中で、大事にしてきた価値観や想いは何でしょうか。これまでの歩みを振り返りながら、これからどのように生きたいのか、どんな時間を過ごしたいのかを考えてみることで、心の整理がしやすくなります。



何度でも繰り返し考え話し合みましょう

### 02 あなたが信頼できる人は誰ですか？

予期しないできごとで、自分の意思を伝えることができなくなるかもしれません。自分で判断できなくなった時に、あなたの代わりにその意思を伝えてくれる人はいますか？



### 03 信頼できる人や医療・ケアチームと話してみましょう

思いや希望を言葉にして伝えることで、周囲の人たちはあなたの考えをより深く理解でき、いざというときに迷わず支えられるようになります。お互いにしっかり向き合って話すことが、安心して自分らしく過ごすための大きな助けとなります。



## 自分らしい暮らしを選択するために

人生の終わりが近づいたらどのように日々を過ごしたいのか――。

その考えを自分の中で整理し、信頼できる家族や周囲の人たちと話し合っておくプロセスをアドバンス・ケア・プランニング(ACP/人生会議)と呼びます。

自分にとって何が大切なのか、どのような生き方を望むのかを言葉にしていくことは、“もしも”のときにあなたの選択を尊重してもらうための大事な準備になります。



# 人工股関節・膝関節手術支援ロボット始動

茅ヶ崎市立病院整形外科

当院では、2026年春に湘南東部医療圏域(茅ヶ崎市、藤沢市、寒川町)で初の(※)人工関節手術支援ロボットを導入します。今後も人工関節置換手術のニーズに対応し、より質の高い医療が提供できる体制の構築に努めてまいります。

※2026年3月時点当院調べ

### 人工関節手術支援ロボットとは？

ロボティックアームを用いて、手術計画に基づいた操作を支援する自動制御システムです。手術の精度向上に寄与することで、血管や神経への影響を抑え、患者さんの負担軽減や合併症の減少を目指します。

画像提供：日本ストライカー（株）

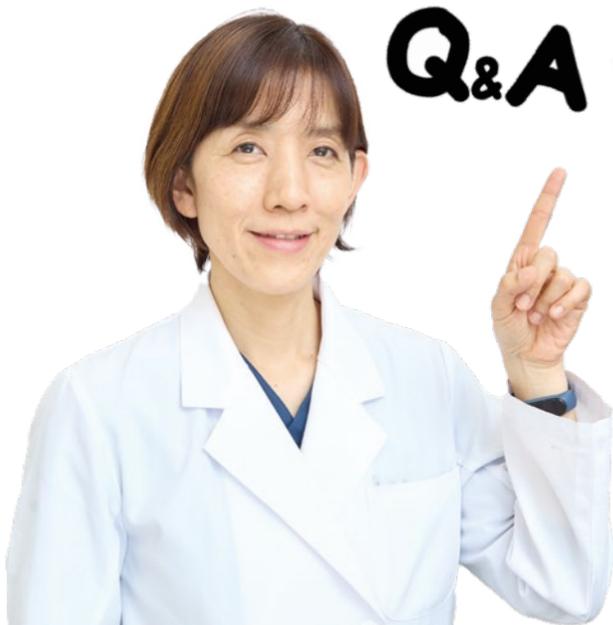
2026年春稼働予定

より詳しいご案内はHPをご覧ください。

自分らしい暮らしを選択するために

# ACPから考える医療ケア

当院 緩和ケアチームリーダー 村田依子先生にお聞きしました



村田依子先生 消化器内科 科部長

## Q&A

人は誰もいつかは最期を迎えます。「それまでにやっておきたい」「自分が意思表示できなくなったら、こうしてほしい」。大切にしたいことやもしものときの希望について整理し、周囲の人たちと話し合うプロセスがACP（アドバンス・ケア・プランニング）です。



### ACPって何ですか？

「人工呼吸器をつけてでも延命してほしい」「自然な形で人生を終えたい」人によって価値観や人生観はさまざまです。人生の最終段階の医療ケアも、症状が急変したり、意思疎通が難しくなった後では、想いをご家族や医療者に伝えることはできません。その時を迎える前に、自分らしい過ごし方をご家族や医療者らと共有するために繰り返し話し合うプロセスがACP。人生会議ともいわれます。

### なぜACPが大切なのですか？

高齢化が進む中、最期の迎え方をご本人の意思表示が得られないまま、周囲の判断で決断をすることは、ご本人にとっても不本意な方向に進むこともあり、残されたご家族や関係者の心理的な負担も小さくはありません。ご本人の尊厳ある生き方を尊重し、最期まで希望する医療・ケアを受けることができるよう、ご本人を中心とした話し合いやその記録が大切なのです。

### ACPの取り組みはどのように進められていますか？

全国の自治体や病院で広がっていますが、茅ヶ崎市も積極的に取り組み、当院でも市との連携に加え、かかりつけ医、看護師、ケアマネジャー、ソーシャルワーカーなどの多職種との協力で地域に広がります。茅ヶ崎市では、自分らしく生きていくために必要な情報を記録できる「わたしの覚え書き～希望のわだち～（茅ヶ崎版エンディングノート）」という冊子を作っていますが、こういったツールの活用もおすすめしています。



わたしの覚え書き～希望のわだち～

### ACPはいつ頃から始めればよいのですか？

体調が急変したり、認知症が進んだりすると、ご本人の意思表示が難しくなるので、少しでも元気があり、意識がはっきりし、健全な思考ができるときに始めるのが理想です。時間の経過で変化があったときは、書き直したり、何度でも話し合しましょう。

### エンディングノートとは、どう違いますか？

エンディングノートもACPのきっかけの一つですが、ACPは「どんな人生にしたいか」価値観や大切にしていることをひも解いて、人生のまとめ方を前向きに考えるプロセスです。医療技術や福祉サービスの進歩で生き方の選択肢が増える今、いろいろな情報に触れることで、より豊かな人生の過ごし方を見つけましょう。



### ACPを始めるきっかけがつかめません。簡単に始められる方法がありますか？

ご家族や医療・介護関係者など、信頼関係のある方がタイミングを計って、ご本人の意向や希望を差し障りないところから話し合うようにしてはいかがでしょうか。当院でも職員が機会を見つけて、ACPをおすすめしています。



### 茅ヶ崎市立病院はACPにどのように対応していますか？

当院では、院内の多職種からなるACPのワーキングチームを設置しています。厚生労働省のガイドラインに沿って、チーム以外からも意見を集め、患者さんの意思決定に関する院内の指針を定めるなど、積極的に取り組んでいます。また、茅ヶ崎市と連携して研修会を開催するなど、関わる人々のスキルアップにも取り組んでいます。

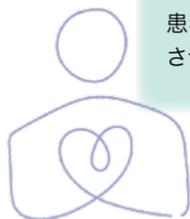
### 先生から市民の皆さんに伝えたいことはありますか？

元気があるときから話し合う機会を持って、その方の人生や価値観をご本人にももう一度考えてもらうきっかけを作りたいです。ご家族でたくさん話し合ってください。それがACPの第一歩です。



### 遠慮せず、何でも相談してください

外来や病棟で看護師の様子を見て忙しそうと遠慮される方もいらっしゃいますが、気がかりなこと、心配なこと、伝えておきたいことなどがあれば、いつでも声を掛けてください。私達も患者さんの大切にしていることを一緒に大切にさせていただきたいと思っています。



### 緩和ケアチームスタッフより

### あなたの言葉で想いを語ることから

日常の何気ない会話の中に、その人の大切にしていることが含まれています。日頃から家族や関係者と対話を重ね、話し合うプロセスをたどることで関係性が深まります。関わりの中で他者と自身の価値観を知っておくことも大切です。

# 茅ヶ崎市立病院のチームで取り組むACP



## ◀ 患者さん中心につながるACPの輪

当院では医師だけでなく、看護師を中心に院内の様々な職種が連携しながら、患者さんおひとりお一人と向き合う姿勢を大切にしています。

それぞれの立場でできることを考え、患者さんの想いや何気ない言葉や表情を一つずつ拾い上げて、点を線でつなぐ。そして、それを職種の枠を越えて共有することで、輪を描くように、常に患者さんが中心にいるACPを進めています。

例えば、長期入院中の患者さんが「最期は自宅に帰りたい」と希望された場合は医師や看護師・薬剤師と相談しながら、理学療法士が自宅での生活に向けて支援を行い、栄養士が自宅での食事について助言します。また、看護師が地域の医療機関と連絡を取り合いカンファレンスを開いたり、社会福祉士が社会福祉制度の活用を調整するなど、多職種が一つになって院内外へバトンをつなぎ、患者さんの意向の実現を目指します。

あなたの大切にしていることはなんですか？ 残りの人生でやりたいことやこんなふうに過ごしたいという希望はありますか。うまく言葉にできなくても大丈夫です。まずは難しく考えずに、ご自身の気持ちと向き合ってみませんか。不安なことがあれば、一人で悩まず、どうぞお気軽にご相談ください。

患者支援センター 担当看護師より



## 地域に広げるACPの思い

### 地域医療支援研修会で活動の基盤づくりを強化

地域医療支援病院※として、当院では地域の医療・介護従事者を対象とした研修会を通じて、地域医療の連携を推進しています。令和7年度はACPをテーマとした研修会を全3回にわたり、当院で開催しました。

実際の事例から学ぶグループワークや、茅ヶ崎市と共催し専門家を招いての講演会、ゲーム形式のワークショップなど、多角的なアプローチで、ACPに関する知識の習得や地域における関係者との意見交換、連携強化などに取り組みました。

研修会には、医師、看護師、保健師、ケアマネジャー、社会福祉士、薬剤師、栄養士、理学療法士といった医療・福祉の専門職に加え、行政職員など幅広い職種の多くの方々に参加しました。

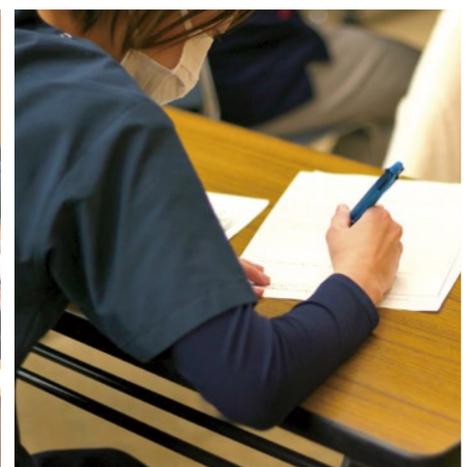
当院はこれからも、地域の基幹病院として市と連携しながら、ACPの地域的な活動の基盤づくりを強化してまいります。

※ 地域の中核病院として医療を担い、地域連携の中心となる病院。当院は平成24年に神奈川県より、地域医療支援病院として承認を受けています。

令和7年12月に開催した地域医療支援研修会の様子。



約65名が参加し、講義や参加者との意見交換に熱心に耳を傾けました。



# 産後ケアを利用してみませんか

## 助産師等のサポートで産後の不安に寄り添います。



お着替えの時に体重を測定し成長の度合いを確認

出産直後は生活リズムが変化し、育児で家事が増え、不安や悩み、周囲への気遣いなどで、母親は心身ともに疲れが溜まり、体調不良や精神的に不安定になりがちです。そんなとき助産師を中心とした医療スタッフが母親に寄り添い、サポートやアドバイスするのが産後ケアです。

当院では、2021年から茅ヶ崎市内に住民登録のある出産から生後4カ月までの母子を対象に産後ケアをスタートしました。茅ヶ崎市より産後ケア事業を委託され、助成が受けられるので自己負担を抑えながら育児のサポートが受けられます。どうぞ、お気軽にお申し込みください。



### 通所型

#### 病院施設内でゆっくりケア

当院に親子で来院し、5時間の間、助産師が見守り、お母さんは院内でゆっくり過ごしながら、さまざまな育児サポートを受けていただくことができます。前日に電話などでお母さんの意向をヒアリング(当日来院時の場合もあり)して、お母さんのご希望に沿った産後ケアを受けていただきます。心と体をゆっくり休ませる時間が持てるので、育児の緊張が続き、自宅では休めないという方、血圧が高かったり、手術後の傷の痛みなど、体が回復途中にある方もどうぞ。



子育ての専門家と相談することで生まれる安心とゆとり

### 訪問型

#### 家庭内でさまざまな子育てサポート

ワンオペに苦しみお母さん、子育ての世代間ギャップに悩むご家族…。助産師が産後ケアの依頼を受けて家庭を訪問し、生活の場で支援を行います。授乳マッサージや授乳姿勢のアドバイス、お父さんも一緒に練習する沐浴など、ご家族の意向や家庭環境に沿ったケアをご提供します。90分のケアの中で、母子の状態やアドバイスなど、お父さんや祖父母にも直接、お話しすることができます。当院までの通所が難しい方にも適しています。



市内全域をフォローする訪問型。カバンには体重計も



### 経験豊かなスタッフと豊富な医療情報 茅ヶ崎市立病院の産後ケア

当院の産後ケアは母性看護専門看護師を中心に経験豊富なスタッフで担当しています。また、助産師のアドバイスやケアはもちろん、当院の各部門と連携して関連した情報も提供できます。万一、受診が必要な場合はその目安もお伝えすることができます。また、当院で出産されていない方もご利用いただけます。

### 安心できることがいちばんの休息です

お母さん一人ひとりお悩みも違います。異なる子育て環境の中、必要なサポートも違います。そうした経験の一つ一つをまとめて、今後のサポートにつなげるように9人のスタッフで共有しています。助産師が産後も継続して支援することは、利用される方の安心も大きいと思います。ぜひとも一人でも多くの方に利用していただきたいです。



産後ケア担当  
金澤助産師

### 通所型産後ケア 一日の流れの例

お母さんのご希望や体調に合わせて、リラックスしながら育児サポートを受けるなど、いろいろな過ごし方が可能です。

- 10:00 来院・受付**  
当院にお越しいただき、病棟へご案内。母子ともにお着替えいただけます。
- 10:30 ケア・相談**  
赤ちゃんの発達・発育を確認するとともに、お母さんの状況やお悩みをお伺いします。
- 12:00 昼食**  
7階のレストランで昼食。  
産後ケアには昼食券がついています。
- 14:00 ケア・相談**  
希望や必要に応じて、助産師による育児相談や授乳マッサージなどのサポートを受けられます。
- 15:00 終了・精算**  
利用料金をお支払いいただき終了となります。



ランチメニューの一例

### ご利用の流れ

- 産後ケアをはじめてご利用される場合
  - (1)茅ヶ崎市こども育成相談課(0467-81-7171)に申請手続きのためお問い合わせください。
  - (2)茅ヶ崎市立病院(0467-52-1111)へご連絡いただきケアのご予約をお取りください。  
現在は毎週火曜日にご予約を承っています。
  - (3)産後ケア終了後利用料金のお支払い
- 他施設で既に産後ケアを受けたことがある場合、当院での2回目以降のご利用の場合は(2)以降の手続きのみとなります。

### ご利用料金

種類	所要時間	1回あたりのご負担額
通所型	5時間	1,600円
訪問型	90分	900円



詳しい情報はホームページ  
をご覧ください

当院の産後ケア  
について

茅ヶ崎市産後ケア  
事業について

- 2026年3月現在の利用料金です、利用料金は変更となる場合があります。
- 1回のご出産で通所型・訪問型をあわせて7回分までご利用いただけます。
- ※他施設で既に産後ケアを受けたことがある場合は、利用できる回数異なる場合があります。

### ■紹介状をお持ちください

初期の医療は患者さんの身近にある診療所が担い、診療所が対応できない医療は地域の基幹病院が担うという医療機関の機能分担の推進を目的として、一般病床200床以上の地域医療支援病院では選定療養費の徴収が義務づけられています。他の医療機関からの紹介状を持たずに当院を受診する場合は、通常の初診料のほかに選定療養費として7,700円(税込)をご負担いただきます。



茅ヶ崎市立病院  
CHIGASAKI MUNICIPAL HOSPITAL

TEL:0467-52-1111

- ◇受付時間=午前8時30分~11時
- ◇診療時間=午前9時~午後5時
- ◇休診日=土・日曜日、祝日、年末年始



病院ホーム  
ページ